

研究課題名	腎臓疾患および体液制御の異常に関わる危険遺伝子および遺伝子変異の同定
研究機関名	武蔵野赤十字病院
研究責任者	所属 小児科 氏名 岡田 麻理
研究期間	(西暦) 当院の倫理委員会承認後 ~ 2022年 3月
研究の意義・目的	本研究では、遺伝子変異もしくは遺伝子多型が発症の危険因子になっていると考えられる腎臓疾患および体液制御の異常について、患者検体から危険遺伝子を決定、その配列を明らかにすることを目的としている。
研究の方法 (対象期間含む)	担当医師は、2022年3月までに下記腎疾患を疑う患者から10mLの血液、1mLの唾液、または100mLの尿を採取し、DNAを抽出、次世代シーケンサー及びサンガーシーケンス法を用いて遺伝子塩基配列を決定する。対象疾患は、・AQP水チャネルファミリー、・電解質輸送体（クロライドチャンネル、ナトリウムチャンネル、カリウムチャンネル、H-ポンプ、NaPiファミリー、有機イオントランスポーター、尿素輸送体、尿酸輸送体など）、WHKキナーゼファミリー、・エンドセリン、バソプレシン、NO関連遺伝子、・嚢胞腎関連遺伝子（polycystinなど）、アルポート症候群関連遺伝子、・ステロイド抵抗性ネフローゼ症候群・巣状分節性糸球体硬化症関連遺伝子、・シスチン尿症遺伝子
①試料・情報の利用目的及び利用方法 (匿名加工する場合や他機関へ提供される場合はその方法含む) ②利用し、又は提供する試料・情報の項目 ③利用する者の範囲 ④試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	①試料よりDNAを抽出、次世代シーケンサー及びサンガーシーケンス法を用いて遺伝子塩基配列を決定する。採取した試料は研究用にあらためて付着した符号で管理され、あらゆる個人情報とは切り離され保管する。遺伝子解析の結果も同様に個人情報とは分離し、施錠されたキャビネットに保管する②患者から採取した10mLの血液、1mLの唾液または100mLの尿、イニシャル・性別・年齢・同意取得状況、臨床経過④岡田 麻理（武蔵野赤十字病院 小児科）、内田 信一（東京医科歯科大学 腎臓内科）
問合せ先	当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ  〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 小児科 氏名 岡田 麻理  TEL : 0422-32-3111 (代表) 6812 (事務局内線) FAX : 0422-32-3525